

2024 年 5 月 29 日

関係各位

(公財) 日本ハンドボール協会

指導普及本部長 藤本 元

指導委員長 船木 浩斗

日本スポーツ協会公認指導者資格取得に向けたガイドラインについて

公益財団法人日本ハンドボール協会（以下 JHA）指導委員会では、2027 年 4 月からの公益財団法人日本スポーツ協会（以下 JSPO）公認指導者資格保有義務化の完全実施に向けて（追加移行措置期間 2024 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）、JSPO 公認指導者資格取得に関するガイドラインをまとめました。

1. 資格保有義務化に該当する資格および規則について

JSPO 公認指導者資格のうち「コーチ 1～4」「スタートコーチ」「スポーツコーチングリーダー（旧コーチングアシスタント）」を取得している人が、年間登録時の役員の中に 1 人以上いることが必要である（ハンドボールに限らず、他種目でも可）。

2027 年から指導者資格義務化が完全実施された場合は、JSPO 公認指導者資格保有者が 1 人もいない場合には、年間チーム登録ができない。

現在のところ、各種大会でベンチ入り役員に JSPO 公認指導者資格は義務付けない。ただし、国民スポーツ大会（旧国民体育大会）および全国小学生大会ではすでに義務付けられている。

また、2025 年からは国民スポーツ大会および U-15 ジュニアセレクトカップ（旧 JOC ジュニアオリンピックカップ）に限り、ベンチ入り役員に 1 名以上のコーチ 3 以上の資格保有者が求められることになる。

2025年度 国スポ

（ブロック大会・本大会）

👉 コーチ3保有者が監督として登録されていること

👉 監督は必ずベンチ入りすること

👉 種別兼任監督は認められません

2025年度 JSC

（地区予選・全国大会）

👉 コーチ3保有者が1名以上チーム役員として登録され、ベンチ入りしていること

👉 原則、その役員が監督として登録されていること

👉 2027年度からは監督のコーチ3保有を必須とする(予定)

2025年度 国スポ

試合において、コーチ3保有者がベンチ入りできない場合

👉 代表者会議において理由書を提出する

JHA 大会競技運営委員会・指導委員会

👉 当該試合の成立可否や指導者へのペナルティ要否を判断する

2025年度 JSC

試合において、コーチ3保有者がベンチ入りできない場合

👉 代表者会議において理由書を提出する

JHA 大会競技運営委員会・指導委員会

👉 指導者へのペナルティ要否を判断する